

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 132 号									
件 名	地球三大危機、危険な猛暑、核放射能拡散、資源戦争阻止に関することについて									
要 旨	<p>私（たち）は11月13日、国内資源肥料フォーラムで出展、説明ができました。20日に新潟県議会へ同様の陳情をしました。</p> <p>来年は今年よりさらに猛烈に暑くなります。なぜか。1992年気候変動条約枠組、採択3年前に、強欲経済の石油メジャー等の世界気候連合（1989年設立）が、世論誘導で化石燃料のCO₂を原因変節（空の発熱現象省略と化石燃料や森林伐採の規制がない）条約です。</p> <p>気候変動、温室効果ガス削減は、CO₂濃度低減の思考施策でないから、CO₂濃度400 ppm危険水準超が空の発熱量、気温40度超になっているのです。加えて、国際的な核実験再開宣言並びに国内の原発再開状況に鑑み、本件及び新潟市非核平和都市宣言の趣旨と併せて、懸念事項として新潟市議会をはじめ、多くの市民や団体と共に論議する必要性があると思い、温暖化と気候変動の違いを分かりやすく、温暖化ABC、気候変動ABC比較表を考案、添付して陳情いたします。</p>									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">「温暖化」は現実的に示す</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">「気候変動」は自然現象をゆがめ示す</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A 暖かいのは「空での発熱現象」のおかげです。</td> <td style="text-align: center;">あり得ぬ効果ガス、削減枠組みの架空数値。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B バイオ、光合成と緑化の循環型肥料が必要。</td> <td style="text-align: center;">膨大な太陽入射量を空へ逃がす虚実です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C CO₂吸収の濃度低減が気温低下になる。</td> <td style="text-align: center;">「地球エネルギー収支」説明に虚実がある。</td> </tr> </table>	「温暖化」は現実的に示す	「気候変動」は自然現象をゆがめ示す	A 暖かいのは「空での発熱現象」のおかげです。	あり得ぬ効果ガス、削減枠組みの架空数値。	B バイオ、光合成と緑化の循環型肥料が必要。	膨大な太陽入射量を空へ逃がす虚実です。	C CO ₂ 吸収の濃度低減が気温低下になる。	「地球エネルギー収支」説明に虚実がある。	(次頁につづく)
「温暖化」は現実的に示す	「気候変動」は自然現象をゆがめ示す									
A 暖かいのは「空での発熱現象」のおかげです。	あり得ぬ効果ガス、削減枠組みの架空数値。									
B バイオ、光合成と緑化の循環型肥料が必要。	膨大な太陽入射量を空へ逃がす虚実です。									
C CO ₂ 吸収の濃度低減が気温低下になる。	「地球エネルギー収支」説明に虚実がある。									
付 託 年 月 日 委 員 会	第1項 令和7年12月16日 { 第3項 } 環境建設常任委員会									
受 理	令和7年11月26日	第443号								

記

- 1 世界の空の発熱現象を知り、正しい温暖化教室を広め、危険な猛暑阻止を日本から発信するように、市民と共に調査研究し、持続可能な方策を見いだすこと。
- 2 平成17年（2005年）の新潟市非核平和都市宣言と併せて、原発や核開発をやめさせていくために、CO₂石油と発電装置、市民参加の資源エネルギーづくりを各地域（中学校、自治協）に設置し、通常発電供給及び災害時に救援が行えること。
- 3 国の光合成生物の量産、グリーンバイオ戦略（CRDS-FY 2010-XR21）及び国内資源肥料の利用拡大によって、地球規模の緑化事業にし、CO₂濃度低減、気温低下の温暖化阻止NHP社会を目指すこと。